



日本スーパーマーケット協会

平成17年8月 マンスリー レポート

集計企業数 **60** 社

売上高・前年同月比

	全 店			既 存 店	
	売上高	構成比(前月)	前年同月比(前月)	売上高	前年同月比(前月)
総 額	36,315,117 万円	100.0%	100.4%(100.7%)	34,532,190 万円	97.5%(98.2%)
食 料 品	29,171,630 万円	80.3%(79.2%)	100.2%(100.7%)	27,763,716 万円	97.4%(98.1%)
農 産	4,109,187 万円	11.3%(10.7%)	97.4%(96.8%)	3,876,593 万円	94.4%(94.0%)
水 産	3,210,181 万円	8.8%(9.0%)	99.1%(101.3%)	3,053,031 万円	96.2%(98.6%)
畜 産	3,090,846 万円	8.5%(8.5%)	99.8%(103.3%)	2,934,138 万円	96.6%(100.3%)
惣 菜	3,038,040 万円	8.4%(7.8%)	103.8%(104.5%)	2,875,393 万円	100.4%(101.1%)
日配食品	6,687,876 万円	18.4%(18.6%)	100.5%(100.1%)	6,377,305 万円	97.8%(97.6%)
加工食品	9,035,500 万円	24.9%(24.7%)	100.5%(100.7%)	8,647,256 万円	98.1%(98.6%)
生活関連	3,037,832 万円	8.4%(8.5%)	101.6%(100.4%)	2,830,696 万円	98.1%(96.6%)
衣 料 品	1,815,273 万円	5.0%(6.1%)	100.0%(100.3%)	1,754,455 万円	99.5%(99.0%)
そ の 他	2,290,382 万円	6.3%(6.3%)	101.9%(100.9%)	2,183,323 万円	97.5%(101.2%)

数 値

全店総売上高	36,315,117 万円	店 舗 数	3,421 店舗
総売場面積	5,874,181.2 m ²	総従業員数	171,053 人

店舗平均月商	10,615.4 万円	平均客単価	1,798.6 円
月間m ² 売上(前月)	6.2 万円(6.1 万円)	平均店舗面積	1,717.1 m ²
月間坪売上(前月)	20.4 万円(20.0 万円)	パート比率(前月)	75.7%(74.9%)

注) 総従業員数...パート・アルバイト数は、8時間換算しています

全体概況

- ・ 昨年よりも日曜日が1日減。農産の相場安も影響し、売上は全般的に厳しい状況であった
- ・ 全国的に気温が高く涼味商材が好調であった。記録的な猛暑であった昨年とほぼ同じ売上となった
- ・ 昨年はオリンピックがあったため、その売上分が今年に影響しているという指摘も聞かれる
- ・ 全国的に新規オープンが多く、競合店が増え、非常に厳しい状況になっているという声が多く聞かれる

商品動向

農産

- ・ 野菜の相場は徐々に上がってきているが、まだ厳しい状況が続いている。特にレタス、きゅうり、トマトの売上が厳しい状況となっている
- ・ 果物も全般的に相場が安く、スイカ、桃などの主力商品の売上が伸び悩んだ

水産

- ・ サンマ、カツオともに水揚げ量が多く、相場が安定したため売上は概ね好調であった
- ・ 国産うなぎの相場高が続いており、売上も伸び悩んでいる

畜産

- ・ 気温が高かったため、焼肉商材の売上が好調であった。逆に牛・豚の切り落としなどベーシックな商品が不調であった。
- ・ 豚肉の相場が非常に高く、売上、利益ともに厳しい状況となっている

惣菜

- ・ 全国的に好天が続いたため、弁当などの行楽商材が好調であった。反面、寿司は若干伸び悩んでいる

日配・加工食品

- ・ 日配食品は、気温が高かったため、先月低調であったアイス、冷やし中華などの涼味商材が一気に動いた。逆に、和日配は低調であった
- ・ ところてんは、依然ブームが続いており、非常に好調に推移している
- ・ 加工食品も、気温が高かったため、飲料、乾麺、麺つゆなどが軒並み好調な売上となった
- ・ アルコールは、ビール、チューハイが好調。発泡酒は前年比6～7割と低調であるが、第3のビールは昨年比3倍以上のところもあり非常に売上を伸ばしている

その他

- ～お盆商戦について
- ・ お供え用のフルーツやギフトは、各社数量では昨年並みか、10%増となったところが多い。しかし単価が下落しており、売上は昨年とほぼ変わらなかった
- ・ オードブルなどのファミリー向けの大型商材の売れ行きは低調であった。逆にコロッケなどのベーシックな商品が好調であった
- ・ アルコールは気温が高く、好天が続いたこともあり全般的に好調であった。しかし発泡酒は第3のビールに完全に売上を取られている
- ・ 寿司や天ぷらは堅調な売れ行きとなり、お盆商戦は全般的に堅調であった。しかし、特に都市部において単価の下落傾向は続いている

～鳥インフルエンザの影響について

- ・ 鳥肉の売上は各社とも昨年並みかそれ以上となっており、鳥インフルエンザの影響を指摘する声は全国的にはなかった
- ・ 一部、鳥インフルエンザの発生した地域に近い店舗では10%ほど売上が落ちたところもある
- ・ 鶏卵の相場がまだ高く、売りづらい状況ではあるが、鳥インフルエンザとは切り離して考えているところがほとんどである

～秋物商材の動向について

- ・ 気温の高い日が続いているため、秋物商材の動き出しは全般的に鈍い
- ・ 相場の安い、サンマ、マツタケ、梨、ぶどうなどは比較的好調に動いている